

## 南部の州へも有料道路が拡大しそうである

|      |   |
|------|---|
| 掲載日  | 2009年12月30日                                     |
| 国名   | アメリカ  |
| 分類   | 料金  |
| 出典   | AASHTO Journal(インターネット記事)                       |
| タイトル | <b>Tolls Ahead for Drivers Across the South</b> |

米国南部には有料道路は非常にまれであったが、今まさに変わろうとしている。物価上昇や人口増加により、これまでの予算収入では道路予算が足りなくなっており、多くの南部の州が有料道路や有料レーンを計画しつつある。以下にその例を示す。

ジョージア州では、アトランタ市都心部に HOT レーン(多乗員車両無料、少乗員車両有料車線)の広範囲のネットワークを計画している。(インターステート20号線、75号線、85号線、285号線、575号線)上記のうち、インターステート85号線での既存のHOVレーン(多乗員車両無料車線)をHOTレーンにするプロジェクトが先陣を切って2011年に開通する予定である。ジョージア州交通局は最近、既存道路の有料化禁止法案を撤廃した。

アラバマ州は最初の有料道路を計画している。US280号線バーミングラム付近の16マイルに有料の4車線を追加する7億1000万ドルの事業である。この高速道路は現在、当初設計のほぼ倍の交通量をさばっている。有料車線により渋滞が緩和されることを期待している。

ミシシッピ州は州で最初の12マイルの高速道路(ジャクソン中央部及び空港と東部近郊を結ぶ)を計画中である。

ノースカロライナ州は、最初の有料高速道路(延長18.8マイル、RaleighからDurhamまでの都心地域を連絡する)を建設中であり、この10億ドルを計上するプロジェクトは2011年に供用開始される予定である。

テキサス州は例外で、もともと南部にありながらたくさんの有料道路を保有している。この道路予算不足から、ダラス周辺ではさらにたくさんの有料道路の追加が計画されており、北テキサス有料道路機構(North Texas Tollway Authority)はあまりの有料道路の急増で、ドライバーが有料道路に猛反発することを恐れている。